



人類に
奉仕する
ロータリー

クラブ運営方針 「ロータリー 再認識！ 再発見！」

2016-2017年度

広島北 ロータリークラブ週報

Rotary
Club of Hiroshima North

2016年12月15日発行 Vol. 1496

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム 氏
国際ロータリーテーマ

ROTARY SERVING HUMANITY
人類に奉仕するロータリー

■会長 中山 昌実 ■幹事 岡部 知之
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

本日の例会

2016年12月15日(木)
第2296回

ロータリーソング	「手に手つないで」
来客紹介	親睦委員会
会長時間	
幹事報告	
委員会報告	
同好会報告	
ニコニコ箱	ニコニコ委員会
卓話時間	語り部 阿部 頼繁 氏 機械操作 為政 久雄 氏 「紙芝居、カーブ物語『カーブ初優勝』」

前回の例会

2016年12月8日(木) 第2295回

ロータリーソング	「われらの生業」
来客紹介	親睦委員会
連続出席表彰	
会長時間	
幹事報告	
委員会報告	
ニコニコ箱	ニコニコ委員会
卓話時間	がん予防推進委員会 原田義弘 会員 「前立腺がん、認知症」 ロータリー情報委員会 久永 洪会員 「ロータリー、基本の『基と気』」

連続出席表彰



26年 泉会員、21年 中山会長、18年 山下(正)会員・三保会員、
16年 庄子会員、14年 坪内会員、11年 神農会員、9年 鈴木会
員、8年 岡部幹事、2年 樽本会員 おめでとうございます！皆様、こ
れからも連続出席を続けてください！

会長時間

会長 中山 昌実

ご来客の皆さんにはようこそお越し下さいました。時間の許す限り
ごゆっくりお過ごしください。
地区より表彰についての案内が来ております。団体表彰には我が
クラブが3度受賞した「意義ある業績賞」や最近ご無沙汰の「会長賞」
等あります。個人表彰にはみなさんには耳慣れない賞もあります。
「クラブビルダー賞」をご存じでしょうか？「クラブビルダー賞」は20
10年に創設された新しい表彰制度で、「ロータリークラブのサポ
ートと強化」のために尽力しているロータリアンを表彰します。本年度
表彰者は地区で10名となります。内容は5名以上の新会員を推薦
し入会させ、地区の研修や行事にも積極的に参加している者となっ
ております。我がクラブにも対象会員がいれば是非推薦したいと思っ
ております。まずは新会員の推薦をお願いします。

IM開催について

グループ6ガバナー補佐の
静川 周様が例会に出席され、
来年2月26日(日)に開催さ
れるインターシティ・ミーテ
ィングの全員登録と出席につ
いてお話をいただきました。



幹事報告

幹事 岡部 知之

《BOX配布物》

*IMのご案内（回答期日は1月6日(金)です。多数のご出席をお
願いいたします。

委員会・同好会報告

社会奉仕委員会 下川副委員長

*例会終了後、打ち合わせを行います。

親睦委員会 藤田委員長

*1月12日(木)18時30分より親睦委員会主催による新年会を開
催します。会場は「う越久」です。多数のご参加をお願いします。

登山同好会 本田会員

ニコニコ箱

発表：吉永征史委員長

《自主出宝》

中山会員・三保会員・岡部会員・丸本会員・小林(孝)会員

本日は原田会員と久永会員の卓話となっております。楽しみにしており
ますので、よろしく願いいたします。

中山会員・三保会員・岡部会員・丸本会員・小林(孝)会員

先週はクラブ協議会と懇親会に多数ご出席賜り誠にありがとうございます

した。次年度が動き始めましたが、今年度まだまだ道半ばです。執行部は緩まず今一度引き締めてまいります。

東会員・越智会員 先週の年次総会で理事役員をご承認いただきありがとうございました。また、理事役員の皆さんを始め全会員のご協力をいただき、伝統ある広島北RCの名を汚さぬよう一生懸命頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

東会員・中山会員・三保会員・粟屋会員・越智会員・下前会員・山坂会員・島本会員・久保(豊)会員・増田会員・畑会員・山下(正)会員・藤原会員・浦会員・岡田(昌)会員・金井会員 先週の年次総会で次年度役員選出承認頂きましてありがとうございました。頑張りますので皆様のご協力をお願いいたします。

久永会員 「ローター、基本の基と気」の話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

原田会員 ローターに入会して40年ですが、初めて卓話をさせていただきます。病気の話で楽しくないと思いますが、聞いてやって下さい。

泉会員 入会して連続出席26年、健康に感謝して。

鈴木会員 連続出席表彰ありがとうございました。皆様、今後もよろしくお願い致します。

榎本会員 連続出席2年の表彰ありがとうございました。まだまだ未熟者ですが、精進して参りますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

古田会員 ご紹介でお名前を呼び間違えてしまい大変失礼いたしました。

吉永会員 先週の例会時に誕生祝いをさせていただき、ワインを頂きましたが、ニココの出宝が100万円を超えた事で有頂天になり、出入口の受付のテーブルにワインを忘れて帰りました。クラブ協議会の会場に持ってきていただきありがとうございました。

当日計 36,000円 累計 1,045,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

卓話 Part1

『前立腺がんについて』

がん予防推進委員会
原田 義弘 会員



本年度の田原栄一ガバナーは「がんの専門家」で、「がんの予防と治療に」に情熱を傾けておられ、ロータリーに所属する医師は例会で何

かをするようにと指示されました。

私は自分が罹患した「前立腺がん」について述べさせていただきます。日本人の男性で一番罹患数の多いのは胃がん、次いで肺がん、大腸がんですが、最近は前立腺がんがそれらを追い越す勢いで増え続けており、罹患数が年間10万人弱と推定されております。この数は10年前の倍近くだそうです。前立腺がんは自覚症状がほとんど無い事が多いのですが、PSA という腫瘍マーカーが4.0を超えると要注意です。

私のPSA値は十数年前から4.0付近を上がったり下ったりしておりましたが、約10年前8.3と急上昇したため、入院の上、生検を行いました。しかし、がん細胞は陰性でした。

以後も4ヶ月に1回、PSAの検査を受けておりましたが、4年前に7.3に上昇し、県病院に入院して、また生検を受けましたところ、がん細胞が陽性でした。限局がん(早期がん)であったため、専門家の勧めで、県病院で小線源療法(全身麻酔をかけた上で局所に放射線物質を埋め込む)を受け、2日間の入院で済みました。

外照射は週3回、7週間の照射が必要で、私のような休みの取

れない人間には困難です。

手術療法も以前から行われておりますが、最近では「ロボット支援手術」が主流で、数年前に市民病院が導入し、良い結果を得ているそうです。現在では日本で行われる前立腺がんの手術の内、「ロボット支援手術」は約50%で、全国の病院には225台あるそうです。

皆様も50才になったら PSA 検査を是非受けてください。

一般の血液検査と同時に行うことが可能なので、「PSA検査」もお願いしますと一言医師に教えてください。値が4.0を超えたら泌尿器科の専門医に相談して下さい。

卓話 Part2

『ロータリー、基本の「基と気」』

ロータリー情報委員会
久永 洪 会員



今年度、中山会長は方針の一つに「ロータリー再認識・再発見」を掲げ、古参会員も若い会員も会員一同ベクトルを合わせ、広島北 RC の50周年向け、基礎となる一年にしたい。と発表されています。それに関連して坪内ロータリー情報委員長より、近年入会者も増えたので、委員の中で一番年長の私に話をしてくれということで、皆様にはよくご存知のこととは思いますが、「ロータリー、基本の基と気」の話をします。

* 何故、ポール・ハリスが1業種1人制でロータリーを始めたのか？

110年前のシカゴの街は、商道徳は乱れ、食うか食われるか、私利私欲が当たり前という荒廃した世相で、ポール・ハリスは非常に悲しく寂しかった。何とかならないものかと常々考えていました。

ある時、数人の市民と話し合う機会がありました。ところが彼らは勝手に自分のホラを吹き、平気でコボシバナシをしている。そこで気付いたことは、彼らの職業が皆違っていたということでした。ポール・ハリスはこれだ！と思い、1業種1人で会員を集めれば必ず楽しい会合が出来ると確信し、1905年にロータリークラブ(RC)を作りました。

職業分類による1業種1人の会員、会員同士全く平等、これがRCの第一の基本です。現在は、会員増強という国際ロータリー(RI)の方針で、規制が少しゆるくなっていますが、考え方は生きています。

その後、ポール・ハリスは、会合を重ねるごとに会員の中に同業種や、警戒する人がいないので、会員が本来の人間性を取り戻し、心を開き、自分の恥も、また、困ったことも相談したり、お互い助け合い、ついには会員同士の取引やサービスの提供など実利的にも便利な存在となっていきました。1業種1人は図に当り会員同士は親睦を深め、会員も増え、新しいクラブも出来てきました。

しかし、ここに一つの転機が来ます。

それは発足3年後の1908年4月、アーサー・F・シェルドンの入会です。シェルドンは経営学者で「こんな仲間の利益ばかり考えている会は永続しない。広く社会的に有用な団体となる立派な旗印が必要である」と考えました。

シェルドンは1910年8月、シカゴでの第1回全米RC連合会の全国大会で講演をします。そこで彼は有名な「最もよく奉仕した

者、最も多く報われる」ことを発表しました。更に、その翌年の1911年8月の第2回全米 RC 連合会の全国大会で、今度はフランク・コリンズが「超私の奉仕」奉仕哲学に関するスピーチを行います。こうして、ロータリーの自分の職業を通じての奉仕、職業奉仕が始まる訳です。シェルドンとコリンズの奉仕の原理と哲学の発表に影響を受けて、ロータリアンの職場でも職業奉仕が実践され、会員の中から徐々に成功者が出てきて、ロータリアンは「奉仕をする」という大きな信念を持つようになりました。そこには下心のない職業倫理に根差した善意があったからで、もし、そうでなければ、金儲けのためと映るから、上手くいかなかったと思います。

「職業倫理に根ざした善意からの奉仕であること」が大切です。この奉仕が2つ目の基本です。

このようにロータリーは始めに親睦があり、そこから職業奉仕が生まれ、奉仕の理念を確立し、社会奉仕に成長し、それが更に広がって、国際奉仕、青少年奉仕へと展開しているのです。これがロータリーは親睦と奉仕と言われる所以です。

3つ目の基本は、「ロータリーの目的(旧:ロータリーの綱領)」はロータリアン個人、一人一人に対して呼びかけています。

ロータリーの奉仕は奉仕の原動力となる会員の全員の高揚が基本で「ロータリアン一人一人の奉仕に主体がある」ということです。「団体としてのRCとは奉仕団体というより、奉仕を志す人々の集まりで、これら同志に奉仕を実践する勇気と便宜を与えるための機関である」といえるでしょう。

会員の皆様には、お一人お一人に奉仕の主体があることをより自覚して、参画し、活動をしていただければ更に楽しいロータリーライフになること間違いなしです。

4つ目の基本は、先日の地区大会でも取り上げられた「四つのテスト」です。これについては毎月第一例会で唱和しており、皆様も十分理解されておられると思うので、説明は省略いたします。以上、4つのことが、私が思うロータリーの「基本の基」です。

これからは、私がRCに入会して、学んだり感じた「基本の気」の話をします。

私の入会は40年前の昭和51年で、当時のロータリーは戦争に従軍された厳しい方々が主体で、入会の資格として、質を非常に重視されていました。

入会時のロータリーの説明は、入会担当者と推薦者の2名によって厳格に行われ、特に例会の出席、行事への参加、役職の引き受け、出欠の返事を厳しく言われ、その事を実行する意志を確認されました。YESはあってもNOはないよと釘を刺されました。

「これは、会員に行事に参加して人との交流そしてロータリーの奉仕の勉強をしてもらいたい」とためと教えられました。

入会2年目には会報委員長を命ぜられ、週報の発行で毎週、原田会員と2人で記事を書き、特に卓話のテープ起しには大変苦労しました。行事の原稿は依頼し、編集・割付して、例会2日前までに印刷所へ持ち込むというサイクルで、毎週気が抜けません。

ところが例会へ行くとこの会報は誤字・脱字が多いが誰が担当かといった調子で、瞬間頭にきました。長老の会員さんが目を凝らして会報を読んで注意までして下さる。何事においても細かいことでも手を抜かずキッチリとやり「質の向上を目指せ」という教育でした。

又、依頼した原稿の内容が、RCにとってマイナスになると思われる箇所があり、書かれた会員に申した所、その人は幹事に相談され、幹事より対外的にも、その真意は分かるから問題ないよと言われ、ロータリーは懐が深く寛容なところだと思いました。話は変わりまして、夏の家族会を戸河内町の川岸で懇親会と山女魚の掴み取りをメインにしてやろうとの案が出ました。

しかし、静かな田舎町で200人近い人がテントを張って懇親会をする。「こりゃー地元で迷惑と心配をかけるので、何かお返しをせんと」ということから、奉仕部門の理事が何か考えようと立ち上がりました。その結果、社会奉仕は地元のお年寄りを対象に「食は生命(いのち)です」をテーマに岩森先生が講演を、青少年奉仕は地元の小学生を招き、会員の子供達と一緒に宝探し、山女魚の掴み取りを

国際奉仕は広大な留学生と家族を家族会に招待し、懇親会には地元のお年寄り、小学生、留学生にも加わって頂き、会員と一緒に食事をしながら交流をして頂きました。

このように盛り沢山の行事をやりきりました。その裏には何がなんでもやろうという土井親睦委員長以下親睦委員会を中心に、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕の各委員会が協力して前日から泊まり込みで、少ない予算の中で、心を込めた手作りの準備がありました。

戸河内町のお年寄りの皆様、会員の手をとって「ありがとう」「ありがとう」と言って下さった時の感動・感激はじーんとくるものでした。

「大きな奉仕は、相手にも、奉仕した方にも大きな喜びと幸せをもたらします」「超私の奉仕」ということでしょうか。

また話は変わりますが、当クラブには多種多様で個性的な人、多能な人、人間的に素晴らしい人等々居られ、人間の宝庫です。更にロータリアンということで、メイクアップに行けば他クラブの人であっても会う機会は作れますから、是非、積極的にチャンスを生かし、多彩な会員と交流して飛躍して欲しいと思います。

又、ロータリー歴の長い古参会員に近寄るコツは、懇親会の時、サービスに行き、顔と名前を覚えてもらい、何時でも話ができる関係になるんです。年長者に声を掛けてもらえるようになれば一人前と思うのです。

30年前には5~6でファイヤーサイドミーティング(炉辺談話)がありました。今は、車中談話。車中は密室。先輩と話をするのに最高の空間。特に流川の帰りはいいですね！最後にそれで、後々、為になった話を3つほどします。

- ①久永よ一、人間は360°の真中に居るんで、前の180°だけじゃないんで、後の180°を忘れとるんじゃあないか
- ②あんたも社員がいるじゃろー、大事なことは、部下をして如何に語らむかで一。あんたはいつでも言えるんじやから。
- ③金は一代、躰は二代、味(文化)は三代。と昔から言うんじやが、何が大切かよう考えよ一。

好き勝手に話をしましたが、ロータリーには人あり、教育あり、奉仕ありでロータリーが100年以上も発展、永続している1つの大きな理由だと思っています。

また、私が今日あるのもロータリーのお陰と感謝致しまして終わりとします。

■出席報告 出席委員会

2016年12月8日(木) 会員数 95名
出席 83名 欠席 12名 来客 3名
11月24日例会 修正後出席率 100%
11月度平均出席率 100%

■来客紹介 親睦委員会

静川 周 様(グループ6ガバナー補佐・広島安芸RC)
藤原 昭典 様(西条RC)
小川 嘉彦 様(広島陵北RC)

■次回例会案内 2016年12月22日(木)18:00~

【夜間例会&クリスマス家族会】
会場:ホテルグランヴィア広島4F「悠久の間」
※同日、昼の例会を変更しております。